

■確認■ <経営理念、経営戦略、経営戦術を確認してみましょう>

一年の計は元旦にありといいますが、もう一度自社の経営について考えて見ましょう。一番重要な経営理念は本当でぶれていないか、実態とかけ離れていないか、的確に伝わっているかなどです

■経営■ <会社を存続させることです。会社は生き物と同じです。だから苦労も努力も必要です>

会社は社会的責任があります。会社のトップは責任と権限が一緒に付いて来ます。ですからトップは仕事から逃げてはいけません。そのためにも仕事を好きになることです。トップの良い点はその場で即断即決の醍醐味があります。トップになってみてわかることですが、苦労も努力も楽しみになってきます

■元気■ <相手を認めてあげると、相手は途端に元気になります>

こちらから元気を与える方法として、相手を受け止めて認めて、そして褒めてあげることがあります。人は自分の存在を認めて欲しいものです。その良い方法のひとつに、相手の名前をきちんと呼ぶがあります。その他になにかがあるか、一度考えてみて見ませんか？自分にしてもらったことを思い出してみましょう

■変わる■ <良い変化は進歩であり、良い変身は前進です>

悪い変化は退化であり、悪い変身は後退です。その変化点においていつも前向きに捉えることで、次の道が良い方向に向かっていくものです、人間や企業は良い方向に成長していくべきです。さて今までそのような時あなたはどのようにしていましたか？今年やりたいことを明確にしてみましょう

■管理■ <管理は出来るだけ頻繁に、しかも毎日やれば非常に楽にできるようになります>

毎日、今年やること、今月やること、そして今週やること、さらに今日やることを確認しながら納期遅れや漏れがないようにしています。連載が毎月5本ありますが、コンサルティングをしながらそれもこなしていきます。マンダラ手帳は、非常に有効なツールです。時間が空くと次の作業にかかるようにしています

■研鑽■ <才能に恵まれていることはまれで、努力しさらに意識して作り出しているものです>

天才とは多くの努力をした人のことです。その努力の度合いが桁違いだっただけのことです。自分の持っている才能を磨くことも意識を明確にしていけば、効果的に才能を伸ばすことも可能です。もっと自分の才能や自社の長所を見詰め直す機会を持ちたいものです

■目標■ <出来るだけ高いものにしたいものです。そうすることで手段が変わってきます>

低い目標は少しの頑張りで達成できてしまうものです。目標が高いと今までと違った手段を考えなければなりません。そこから行動が変わってきます。今まで眠っていた潜在意識も目覚めてくると思います

■難しいこと■ <ややこしいことも余り考え込まないことです。視野が狭くなってきます>

困難になってくると頭が混乱してきますが、そうなるしまうと自然に視野も狭くなり、ますます錯乱してきます。それから脱却するには、いつも他の視点を持つことです。別な角度や他人から見るとなんでもないことが多くあるものです。混乱した時には紙に書いたり、友人に話したりして視野を広げるようにしましょう

■気楽に■ <肩の力を抜くことです。力が入りすぎると力が発揮できません>

本番で上がってしまう人が多くいますが、もったいないことです。持っている力量を発揮するには、まず肩の力を抜くことです。そのためにも事を始める時に、深呼吸や正しい姿勢をいつも心がけてみましょう。少し余裕を自ら持つことを意識するだけでも違ってきます

■財産■ <会社の財産は社員ですが、財産になるような人材育成が重要になってきます>

人材育成は最もハイリターンのある投資です。これがわかる経営者がまだ少ないような気がします

■やってみる■ <失敗しても成功すればいいのです。まずやってみることで>

考え込むことを止めて、すぐに行動する習慣を是非身に付ける一年にしてみたいと思います